

## ヘナ配合の白髪染めをうたった商品（概要） — 染毛効果を中心に —

### 1. 目的

ヘアカラーリング剤は白髪染めや頭髪を好みの色に染めるのに広く用いられており、2005 年の染毛料の出荷販売金額は約 1,005 億円（経済産業省「化学工業統計月報」による）に達し、頭髪用化粧品の中ではシャンプーに並ぶ額となっている。

ヘアカラーリング剤には大別して永久染毛剤、半永久染毛料、一時染毛料等がある（図1）。

一時染毛料にはカラースプレーなどがあり、一時的な毛髪表面への物理的着色であるのに対し、永久染毛剤は酸化染料によって毛髪中の化学反応を伴うため、色持ちは良いが皮膚へのかぶれ等を発症することもある。そのため最近では、半永久染毛料の一種で、天然や安全をうたったヘナ（ミソハギ科の低木）のような植物染料によって毛髪にダメージを与えず髪色を変えようとした商品が増えている。

ヘナを使用した商品には、葉を乾燥、粉碎したパウダー状のものやパウダーあるいはエキスを配合したクリーム状のものその他シャンプーなどもある。いずれも色素成分が髪のだんぱく質に結びつき、髪を傷めず白髪を染めることをうたっており、数種類の色の中から希望の色を選択できる商品もある。

国民生活センターのPIO-NET（全国消費生活情報ネットワーク・システム）にはヘナに関する相談<sup>※1</sup>が、2001 年度以降に 171 件寄せられている。そのうち、123 件が「全く染まらない」や「体への影響が不安」などの品質や安全性に関するものであった。また、「頭皮がかぶれた」や「頭痛や吐き気の症状がでた」といった危害に関するものは 61 件であった。

そこで、ヘナを配合して白髪染めをうたった商品の染毛性能の評価を行うとともに、ヘナ特有の色素の含量及びアレルギーの原因となる染料を使用していないか、また、皮膚への安全性について調べ、消費者に情報提供する。

※1 PIO-NET に登録された相談のうち「染毛剤」「毛髪着色料」及び「パーマ」の中で、ヘナに関するもの（2006 年 7 月 25 日までに登録されたもの）

### 2. テスト実施期間

検体購入：2006 年 1 月～3 月

テスト期間：2006 年 2 月～7 月

### 3. ヘアカラーリング剤とヘナについて

#### 1) ヘアカラーリング剤

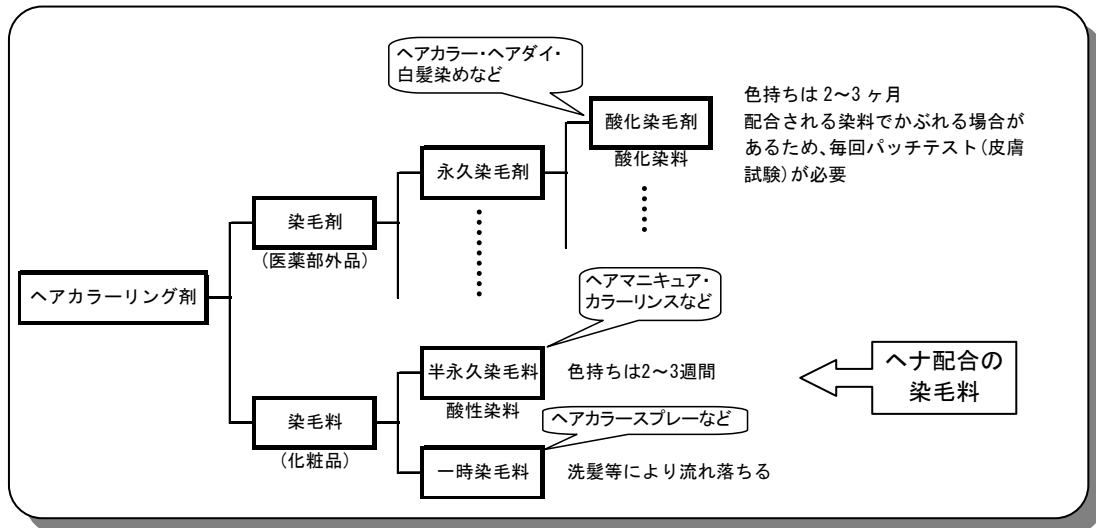


図1 ヘアカラーリング剤の分類 (日本ヘアカラー工業会ホームページより抜粋、一部改)

#### 2) ヘナについて

ヘナはインド等で自生あるいは栽培されている低木で、その葉等を乾燥、粉碎したものが染毛料やリンスに使用されている。その他にも皮膚や爪を染めるために使用されることもある。国内では2001年の化粧品基準の適用開始に伴って企業(事業者)の責任の下で化粧品への配合が認められるようになった。日本化粧品工業連合会が作成し公表している「化粧品の成分表示名称リスト」によると、ヘナにはその性状に応じて「ヘンナ」、「ヘンナエキス」、「ヘナ葉エキス」のような表記方法がある。ヘナの葉の中には赤橙色の色素 2-hydroxy-1,4-naphthoquinone (以下、ローソン (lawsone) とする; 図2) が含まれており、酸性下でケラチン(たんぱく質)と結びつくことが知られている。

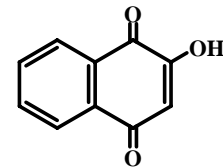


図2 ヘナの色素成分  
ローソン

日本ヘアカラー工業会のホームページには、ヘナだけで染毛した色は淡赤～淡褐色で、日本人の白髪染用としてはほとんど効果がなく、欧米では、もっと黒に近い暗い色に染めるヘナ製品が販売されているが、他の染料が配合されている場合があり、まれに皮膚トラブルを起こすことがあると記載されている。2001年に行われた他機関による植物染料「ヘナ」のテストではアレルギーとなる酸化染料 *p*-フェニレンジアミンが検出された銘柄もあった。

日本ヘアカラー工業会のホームページには、ヘナだけで染毛した色は淡赤～淡褐色で、日本人の白髪染用としてはほとんど効果がなく、欧米では、もっと黒に近い暗い色に染めるヘナ製品が販売されているが、他の染料が配合されている場合があり、まれに皮膚トラブルを起こすことがあると記載されている。2001年に行われた他機関による植物染料「ヘナ」のテストではアレルギーとなる酸化染料 *p*-フェニレンジアミンが検出された銘柄もあった。

#### 3) 備考

- ①酸化染料：永久染毛剤に一般的に使われる染料。毛髪中に浸透し、酸化、重合することにより発色するものであるが、アレルギーの原因となる可能性がある。*p*-フェニレンジアミン、*p*-アミノフェノールなどがある。
- ②酸性染料：半永久染毛料のヘアマニキュアなどに使われる染料。黒色 401 号、橙色 205 号などがあり、染料自体に色がついており、酸性下で毛髪につく。

#### 4. テスト対象銘柄

ヘナ配合の白髪染めは、ドラッグストアやデパートなどの専用コーナー、大手通信販売の誌上などで広く購入することができる。そこで、東京都内及び神奈川県内のドラッグストアやインターネットを含めた大手通信販売等で購入可能な商品で、商品名や表示等からヘナによって染まると受け取れ、染め上がりの色がダークブラウンやブラウン等になるものを選んだ。タイプはパウダータイプを 4 銘柄、トリートメントなどクリームタイプを 6 銘柄<sup>※2</sup>、参考としてシャンプーとリンスをセットとして用いるタイプを 2 銘柄の合計 12 銘柄である(表 1)。

※2 クリームタイプのうち、No. 5、6、7、8 はリンスやトリートメントのように頭髮につけて放置した後洗い流すもの、No. 9、10 は髪に馴染ませて整髪に用いる(洗い流さない)ものである。

表 1 テスト対象銘柄

No.	銘柄名	製造元または発売元名	内容量	購入価格 ※3(円)	
パウダータイプ	1 テンスター スピーディDBトリートメント	製造販売元：三宝商事株式会社	50g	997	
	2 ジャパンヘナ ティーブラントリートメント	(輸入元)：株式会社参理 総発売元：有限会社ジャパンヘナ	100g	1,575	
	3 ナイアード ナチュラルハーブ 4	製造販売元：株式会社ナイアード	100g	1,575	
	4 ハーバルヘアトリートメント ナチュラルブラウン	製造販売元：有限会社マックブランニング	100g	1,575	
クリームタイプ	洗い流す	5 プラセナトリートメントカラー ナチュラルブラウン	製造元：エステートケミカル株式会社 (販売)：株式会社ゲンキ	240g	2,520
		6 HNペースト100 (ナチュラル)	製造元：株式会社シャロン 発売元：株式会社コジット	100g	1,260
		7 ナチュラルカラー トリートメント DB (ダークブラウン)	製造販売元：株式会社純ケミファ 発売元：株式会社純薬	240g	924
		8 マックHBトリートメント ディープブラウン	製造販売元：有限会社マックブランニング	230g (パウダ-50g +リンス165ml)	1,260
	洗い流さない	9 SボタニカラーHNヘアクリーム (ダークブラウン)	製造元：株式会社シャロン 発売元：株式会社コジット	100g	2,380
		10 テンスター カラーリングヘアクリーム (ブラウン)	製造元：株式会社実正 発売元：三宝商事株式会社	100g	1,390
シャンプー・リンス (参考品)	11	ボタニカラーHNカラーシャンプー (ダークブラウン)	製造元：株式会社シャロン 発売元：株式会社コジット	300ml	2,100
		ボタニカラーHNカラートリートメント (ダークブラウン)	製造元：株式会社シャロン 発売元：株式会社コジット	300g	
	12	ネアーム 螺髪 EX シャンプ- (ブラウン)	製造元：株式会社タイヨー	350ml	6,090
		ネアーム 螺髪 EX ヘアパック (ブラウン)	製造元：株式会社タイヨー	350ml	

※3 購入価格は2006年1月～3月に店頭もしくは通信販売における価格(税込)を調査したものである。このテスト結果はテストのために購入した商品のみに関するものである。

## 5. テスト結果

ヘナ配合の白髪染めをうたった商品について、染毛効果やかぶれ等を引き起こす可能性、表示などについて調べた。

### 1) ヘナ色素ローソンの量

**●ヘナ色素ローソンはパウダータイプやクリームタイプの一部には含有していたが、ほとんど検出されない銘柄もあり、それらはローソンによる染毛効果は期待できないものであった。また、表示からみると他の染料を配合しているものも多かった**

ヘナの色素成分のローソンはもともと植物成分であるため使用される部位などによってばらつきがあるが、ヘナ中に最大 2%含まれる<sup>※4</sup>。そこで、各銘柄のローソン含有量を調べた。その結果、パウダータイプの 4 銘柄 (No. 1、2、3、4) 及びクリームタイプの 2 銘柄 (No. 6、8) からローソンが検出されたが、それ以外の銘柄からはほとんど検出されなかった (図 3)。

ヘナ色素ローソンだけを白髪に使用すると淡赤から淡褐色になるため、ダークブラウン等に染めることは難しい。そのためヘナ色素以外の染料を使用しているが、表示を見ると、インディゴ (藍の染料) 等の植物染料が配合されていた銘柄が多かった。

ヘナ色素のローソンがほとんど検出されなかった銘柄は、配合成分表示からみるとヘナ以外にヘアマニキュアなどの化粧品に配合される色のついでにタール系色素等の染料<sup>※5</sup>が配合されている旨の表示があった。

※4 「Opinion on Lawsonia inermis (Henna), COLIPA N° C169 ; SCCP/0943/05」による。

※5 黒色 401 号、橙色 205 号などがあり、染料自体に色がついている。

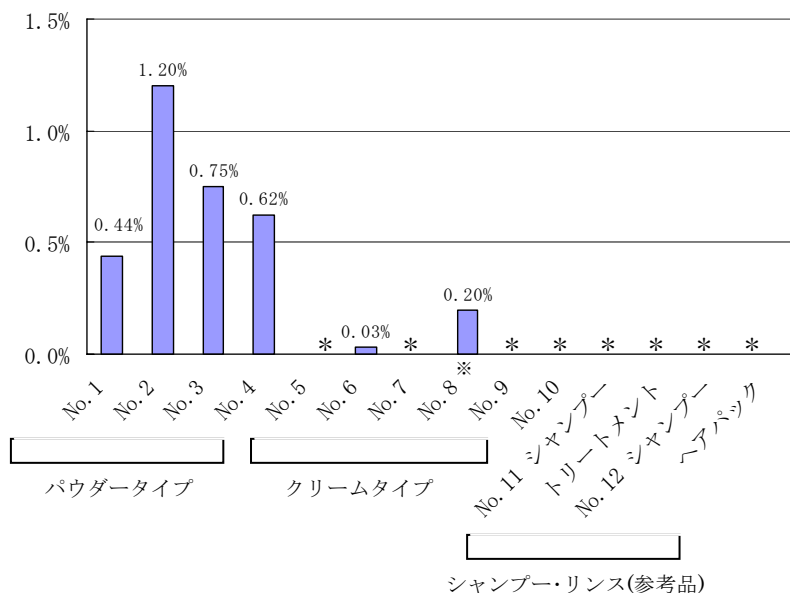


図 3 ヘナ色素ローソンの含有量

※ : パウダーと専用リンスを混ぜ合わせたペーストを用いた (No. 8) \* : 含有量が 0.01%未満のもの

### 2) 白髪を染める性能

白髪を染める効果がどの程度期待できるのかを調べるために、白髪割合 30%のテスト

用毛束を染めたものを、評価者 20 名（女性、平均年齢 50.9 歳）が①白髪の染まり具合、②染毛の結果、白髪等が目立つか、③染毛の満足度、④白髪染め（白髪隠し）として実際に使用してみたいかについて評価した。

(1) 表示の基本的な使用方法に従って染毛した場合

●表示の基本的な方法では、染毛性能は低く、白髪の半分くらいが染まったと評価されたのは 12 銘柄中 3 銘柄のみであった

表 2 表示の基本的な方法に従った染毛条件

No.	染毛回数	塗布後 放置時間	評価日*
パウダー タイプ	1	1	30 分間
	2	1	1 時間
	3	1	1 時間
	4	1	30 分間
クリーム タイプ	5	3	5 分間
	6	1	1 時間
	7	3*	5 分間
	8	1	30 分間
	9	10	—
	10	15	—
シャンプー・リ ンス(参考品)	11	10	各 5 分間
	12	10	各 5 分間

\*：「発色が徐々に進むため 2～3 日後に色が落ち着いてくる」等表示があるものにはその表示に従った。「当日」の評価は染毛後 3～5 時間後に行った。※：使用回数に関する表示がなかったの、同様な性状の No. 5 の条件に合わせた。—：塗布後（次回の洗髪まで）洗い流さない。

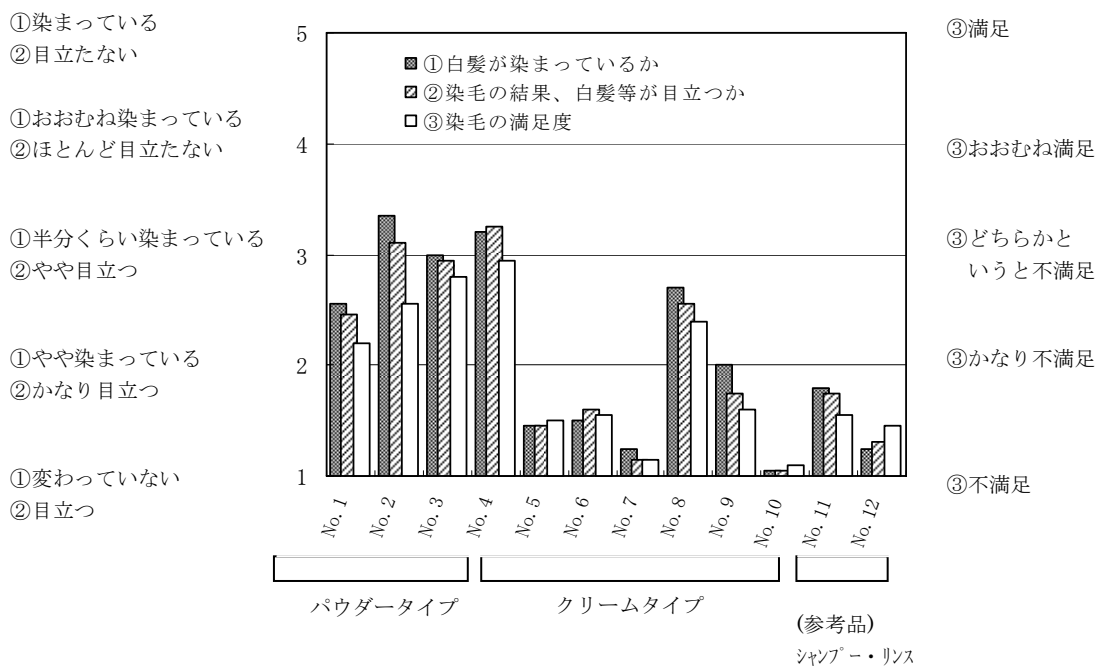


図 4 表示の基本的な方法に従って染毛した場合（20 名の平均値）

取扱説明書、外箱、または本体に表示されている使用方法に従って染毛した場合（表2）の評価を行った。染毛の時間や染毛回数に幅のあるものは最も少ないものを採用した。なお、評価は染毛した毛束について1～5点の5段階で行った。

「白髪が染まっているか」、「白髪等が目立つかどうか」に関しては、比較的评价が高かったのはパウダータイプの3銘柄（No. 2、3、4）で、ある程度白髪が染まってはいるが、白髪等がやや目立つという評価であった。それ以外の銘柄では評価が低く、特にクリームタイプの2銘柄（No. 7、10）と参考品の1銘柄（No. 12）では、染毛する前からの変化がほとんど感じられない、白髪等も目立つとの評価が多かった。その他の銘柄では、「白髪がやや染まっている」、「白髪等がかなり目立つ」との評価が多かった。

染毛の満足度では、全銘柄で「不満足」、「かなり不満足」、「どちらかというの不満足」という回答が大多数を占め、白髪染めとしての満足度は全体的にかなり低いものであった。

## （2）繰り返し使用したり塗布後の放置時間を延ばした場合

### ●パウダータイプで繰り返し使用したり、塗布後の放置時間を長くすると評価が高くなったが、実際に使いたいと評価されたのは3銘柄であった

パウダータイプの4銘柄には、取扱説明書、外箱、または本体の表示に、染まりにくい場合、効果が実感しにくい場合等に「何度か繰り返し使用したり、ペースト塗布後の放置時間を長くする」というような記載があった。これらの銘柄について表示から読み取れる範囲で染毛回数を増やして繰り返し使用したり、ペースト塗布後の放置時間を延ばすなど、条件を変えて評価を行った（表3）。

表3 染毛条件(2)

No.	染毛回数	塗布後 放置時間	評価日*
パウダー タイプ	1	30分間	2日後
		1時間	
	2	30分間	1日後
		1時間	
	3	1時間	3日後
		2時間	
	4	1時間	2日後
		30分間	

網掛け部分：表示から読み取れる範囲で工夫した場合の条件

銘柄により変化の大きさには差があるが、繰り返し使用したり、ペースト塗布後の放置時間を長くすることによって、評価が上がる傾向が見られた（図5）。特に染毛回数を増やすと効果的であったが、逆に白髪を染める場合は、何度も繰り返し使用しなければ効果が実感しづらいという結果となった。

以上の条件のうち、パウダータイプの4銘柄は、評価の高かった塗布後の放置時間を延ばす等工夫した場合の結果を踏まえ、各銘柄を今後使ってみたいかどうかについて聞いた（図6）。

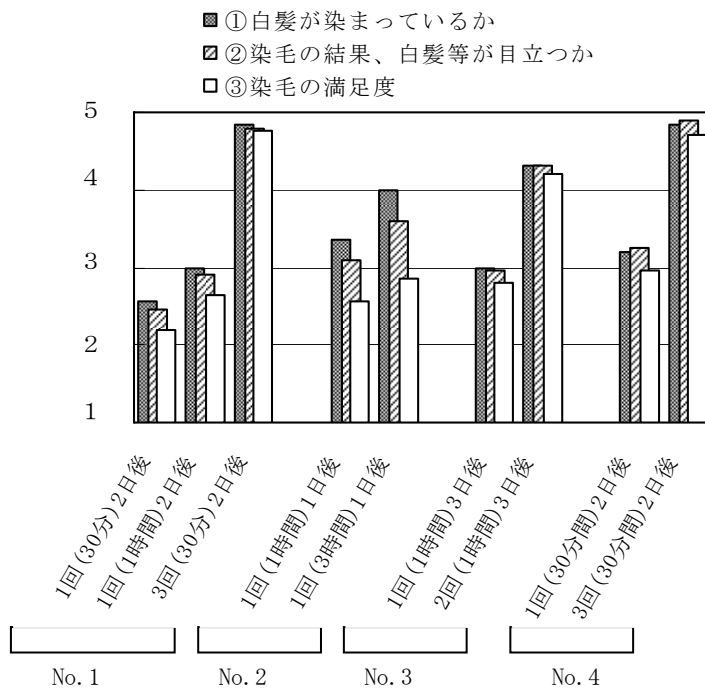


図5 条件を変えて染毛した場合

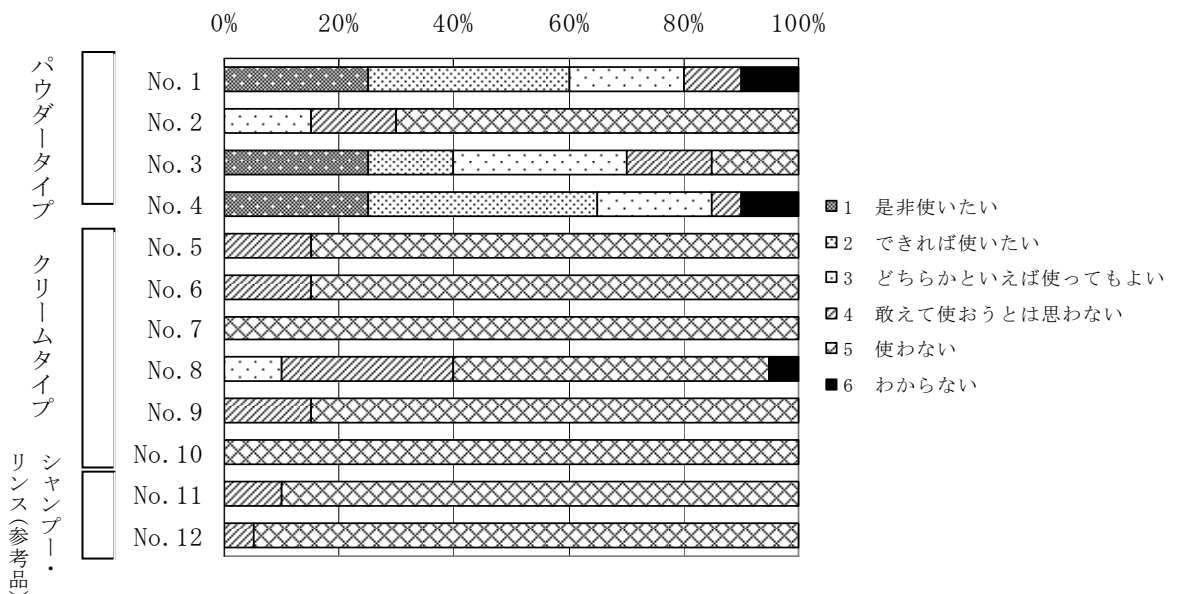


図6 白髪染め(白髪隠し)として使用したいかどうか

その結果、「是非使いたい」、「できれば使いたい」、「どちらかといえば使ってもよい」という評価が50%を超えたものは、パウダータイプの3銘柄(No. 1、3、4)で、逆に「敢えて使おうとは思わない」、「使わない」と回答した人が80%以上であったのは9銘柄(No. 2、5、6、7、8、9、10、11、12)だった。

染毛性能が高く、効果が実感できたものについては使ってみようという回答が多かったが、わずかな効果では使ってみようとは思わないという結果であった。

使いたいという回答が少なかった銘柄では、「パサついていて艶がない」(No. 6)、「ベタついている」(No. 9、10)、という感想があったことから、ある程度染まるものであっても使用感の悪さから実際に使用することを考えないこともあることが分かった。

### 3) 安全性

#### (1) アレルギーを引き起こす可能性の高い染料の有無

##### **●永久染毛剤に最もよく使用され、アレルギーの原因となる可能性が高い染料は、どの銘柄からも検出されなかった**

ヘナ製品で永久染毛剤に使われアレルギーの原因となる染料が検出されたという報告がある。また、ヘナだけで染毛すると淡赤から淡褐色になり、ダークブラウンとならないため、永久染毛剤に使用され、アレルギーの原因となる $p$ -フェニレンジアミン等の染料を配合している可能性があることから、その使用の有無を調べた。

その結果、全銘柄ともどの染料も検出されなかった。

#### (2) かぶれ等を引き起こす可能性 (パッチテスト)

ヘナ配合の白髪染めで「頭皮がかぶれた」等の危害情報があるので、その可能性を調べるために、参考品を除いた 10 銘柄について、永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことのある人 34 名と、永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことのない人 30 名でパッチテストを実施した。パッチテストは、中山皮膚科クリニック、東京都済生会中央病院皮膚科、東邦大学医学部皮膚科学講座の 3 病院に依頼し実施した。

##### **●ヘナ配合の銘柄は強い陽性反応は出ず、また反応が出た人の数も少ないことから、永久染毛剤に最もよく使用される染料と比べると安全度は高かった。しかし、永久染毛剤でかぶれ等の経験がある人は使用する時は注意が必要である**

テスト対象銘柄 10 銘柄のほか永久染毛剤に最もよく使用され、アレルギーの原因物質になる可能性のある染料 ( $p$ -フェニレンジアミン) について、専用の絆創膏に試薬を塗布、2 日間貼り付けたままにするという厳格な方法で行い、陽性反応がどのくらいあるのか、またそれ以上の強い陽性反応があるのかについて調べた<sup>※6</sup> (表 4)。

その結果、 $p$ -フェニレンジアミンは強い陽性を示した人もいたが、ヘナ配合の銘柄はいずれも(++)以上の強い反応が出たものはなく、また陽性反応が出た人の数も少ないことから、安全度が高いと考えられた。

永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことのある人 (34 名) では、 $p$ -フェニレンジアミンに陽性反応を示した人が最も多く (13 名)、ついで No. 1、2、3、6、7 が 7~10 名と多かった。他の銘柄の陽性の人数は 0~5 名であった。これに対してかぶれ等を起こしたことのない人では、陽性が多かった No. 7 (6 名) を除くと他の銘柄は陽性の数は 1~3 名と、かぶれ等を起こしたことのある人より少なかった。両群を通じて陽性率が高いのは No. 7 (16 名) であった。

また、永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことのある人 (34 名) のうちヘナの使用経験



がある人（10名）を除いた24名では、ほとんどの銘柄に陽性反応が出ており、ヘナの使用経験がなくても永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことのある人は、今回のような製品でもかぶれ等を起こす可能性があり、使用する際には注意が必要である。

※6 専用の絆創膏に試薬を塗布、背部皮膚に貼付し、判定は国際接触皮膚炎研究班の基準（ICDRG基準）に従った。反応がなければ陰性（-）、紅斑程度の反応を弱陽性（?+）、絆創膏の試薬部分に紅斑と浮腫を伴っている状態を陽性（+）とし、さらに丘疹または小水疱を伴う場合には（++）、大水疱の時（+++）となる。

表4 パッチテスト結果(陽性反応以上\*)

No. または物質名	永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことのある人 (n=34) 人数 (%)	永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことのない人 (n=30) 人数 (%)
パウダー タイプ	1	10 (29.4)
	2	9 (26.5)
	3	7 (20.6)
	4	5 (14.7)
クリーム タイプ	5	3 (8.8)
	6	8 (23.5)
	7	10 (29.4)
	8	4 (11.8)
	9	4 (11.8)
	10	0 (0.0)
p-フェニレンジアミン*	13 (38.2)	1 (3.3)

\*：ヘナの商品については強い陽性を示した人はいなかった

※：永久染毛剤に最もよく使用される染料で強い陽性を示した人もいた

#### 4) 表示

##### ●ヘナの色素成分であるローソンがほとんど入っていない銘柄にも、「ヘナ」により染毛されると受け取れる表示があり、誤認を招くおそれがあった

銘柄によってはヘナの色素成分であるローソンの含有量がほとんどなく、白髪を染める性能が弱いにもかかわらず、「天然ヘナ成分配合で自然なカラーリング」、「ヘナのカラーリング効果を生かし、少しずつ自然な栗色に着色してゆきます」等ヘナによる染毛をイメージさせる表示がみられた(表6)。

##### ●パッチテストに関する表示が具体的に示されていたのは、12銘柄中7銘柄だった

各銘柄におけるかぶれに対する注意、パッチテストに関する表示を調べた。「まれに植物性アレルギー体質の方に反応することがあります」、「草木アレルギーの方はご使用にならないでください」などのかぶれに対する注意表示は8銘柄でみられたが、パッチテストを行うよう表示されていたのは7銘柄のみで、残りの5銘柄では使用する前にパッチテストを行うよう表示されていなかった。

表6 ヘナによる染毛効果の表示

No.	成分表示※	ヘナによる染毛効果の表示 〔①取扱説明書、外箱または本体 ②通信販売等インターネットサイト〕		
パウダータイプ	1	ヘナ	①ヘナヘアカラー製品特有の性質○植物染料の特徴として発色が徐々に進みます ②発色力もアップし、輝く髪に染め上げるヘナパウダーです。ヘナは、頭皮や髪にやさしい植物性の染毛剤として知られています	
	2	ヘナ	①ヘナは頭皮と髪のトリートメントが主ですが、プラス効果として植物の葉のエキスが黒髪にはほんのりと色が重なり、既染毛にはムラ消しの働き、白髪には白髪ぼかしの染料としての働きがあります ②白髪をライトブラウン系に染めます	
	3	ヘナ	①ヘナ+木藍…白髪の状態ですご使用の場合、1回目は薄めですが、初めだけ2~3日に1回の間隔で繰り返し3回程使用しますと、少しずつ色が重なり、濃くなっていきます ②白髪をより黒髪に近くしたい時、落ち着いた雰囲気になりたい時、暗い色合いで染めたい時には、「ヘナ+木藍」をお勧めします/ヘナは髪を脱色せずに、髪を染めます/ヘナや木藍などの植物染料は色素が髪の毛の中に浸透して半永久的に染まる染料なのです	
	4	ヘナ	①マックヘナは100%天然植物成分のトリートメント染毛料(化粧品)です ②最高級な「ヘナ」と「インディゴ」の巧みなハーモニーでブラウン系の色を実現!天然植物成分100%で、白髪をシックで落ち着いた色のあるブラウンに仕上げながら、抜群のトリートメント効果が得られます/発色は落ち着いたシックなブラウンで、単独でご使用いただくと白髪が濃茶になります	
クリームタイプ	5	ヘナ	①天然「ヘナ」配合で髪にうるおい、傷めず簡単カラーリング ②ベーシックプラスイオンと「ヘナ」の働きで短時間着色効果が出ます(当社比)	
	6	ヘナ	①ナチュラルヘナ100%使用。植物成分で自然にカラーリングできます ②天然ヘナ100%です/天然の植物色素が髪のタンパク質にからみついて定着して髪を修復しハリとコシを与えます	
	7	ヘナ	①天然ヘナ成分でカラーリングしながら髪のダメージをケア ②天然ヘナ成分でカラーリングしながら、髪のダメージをケアするトリートメントです	
	8	ヘナ	①「100%天然植物ヘナパウダー」と「専用リンス」を袋の中でそのまま混ぜ合わせるトリートメント染毛料です ②『マックヘナ』は100%植物成分のみでトリートメントしながらカラーリングができる	
	9	ヘナ	①ヘナ(天然の植物色素)と新成分イオンカラー(カラー成分)が傷んだ部分に選択的に結合し、髪を補修しながらカラーリング/「ヘナ」天然の植物色素が髪のタンパク質にからみついて定着し、くり返し使うことによって自然な色にカラーリングできます ②天然の植物色素ヘナと新成分イオンカラーで、髪を傷めずに根元から自然な色にします	
	10	ヘナ	①「ヘナ」のトリートメント効果とカラーリング効果を生かし、少しずつ自然な栗色に着色してゆきます ②(①と同じ)	
シャンプー(参考品)	11	シャンプー	ヘナ	①天然ヘナと新成分イオンカラーで少しずつ自然なダークブラウンに/本品のカラーリング効果は、毛髪だけに作用する特徴を持っています ②(①と同じ)
		トリートメント	ヘナ	
	12	シャンプー	ヘナ・ヘナ葉エキス	①ヘナ配合 ②天然色素であるヘマティン*とヘナ配合で、徐々に白髪を目立たなくしてくれるシャンプーです(※ヘマティン:インドのママ科の植物色素。毛髪に含まれる微量の鉄分と結合して、水に溶けない黒色色素を作る)
		ヘアパック	ヘナ・ヘナ葉エキス	

※:ヘナは性状により「ヘナ」、「ヘナエキス」、「ヘナ葉エキス」と表記する  
(日本化粧品工業連合会「化粧品の成分表示名称リスト」より)

## 6. まとめ

今回、ヘナ配合の白髪染め商品でダークブラウンやブラウン等になるとうたった商品をテストしたが、もともとヘナ色素ローソンは白髪を染めると淡赤から淡褐色となるもので、配合成分をみるとヘナ以外に他の植物染料やヘアマニキュアなどに使用されている染料を加えているというものであった。また、テストの結果では染毛性能は低く、実際に今後利用してもいいという銘柄は、パウダータイプの3銘柄のみであった。またか

ぶれ等の可能性についても、永久染毛剤の染料と比べれば安全度は高かったが、これまで永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人の場合、ほとんどの銘柄で陽性反応を示す人があり、こういった人には使用する前にパッチテストをするなどの一定の注意が必要である商品であった。

## 7. 消費者へのアドバイス

### 1) 一般的にヘナ配合の白髪染めは染毛効果が低いことが分かった。使用する際には、そのことを理解したうえで

表示の基本的な方法に従って染毛した場合、染毛性能は低く、白髪の半分くらいが染まったと評価されたのは12銘柄中3銘柄であった。市販の永久染毛剤と異なり、染毛性能は高くはないので、そのことを理解したうえで使用すること。また、もともとヘナ色素では白髪は明るいブラウンにしか染まらないため、ヘナ配合でダークブラウンに染める商品には他の植物染料等を加えているものが多い。

### 2) 一部の銘柄では、使用方法を工夫すると染毛性能が向上する場合がある

パウダータイプでは、表示から読み取れる範囲で商品を髪の毛に塗布してからの放置時間を長くする、繰り返し染毛するなどの工夫をすると、染毛効果が向上した。思い通りの色合いに仕上げるためには、なるべく染毛に手間をかけたほうが良い。

### 3) 代表的なアレルギー性の染料を使用しているものはなかったが、これまで永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人は使う前にパッチテストを

永久染毛剤に使われアレルギーの原因となる染料は全ての銘柄で検出されなかった。しかし、パッチテストの結果を見ると永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人のうちヘナの使用経験のない24名のうち14名でいずれかの銘柄に陽性反応が出て、永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことの無い人と比較すると陽性反応の出た人の数が多かった。これまで永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人は使う前に必ずパッチテストをしたほうが良い。

## 8. 業界への要望

### 1) ヘナ色素のローソンがほとんど検出されないようなものもみられたため、ヘナにより染まると受け取れる誤認を招く表示の改善等を要望する

商品名や表示においてどの銘柄もヘナにより染毛すると受け取れる表示があったが、12銘柄のうち6銘柄でヘナ色素ローソンがほとんど検出されなかったことから誤認を招く表示の改善を要望する。

### 2) 一般的に染毛性能が低かったため、染毛性能について誤認のないように、また良く染めるための工夫についての表示を要望する

パウダータイプで染毛を繰り返すなどによって効果の得られる銘柄もあったが、ほとんどの銘柄で染毛効果と満足度の評価が低かった。

染毛性能に関してはその性能が正しく伝わるようにあるいは良く染まるように工夫をする際の方法等の記載を要望する。

### 3) パッチテストを実施する旨の表示をするよう要望する

永久染毛剤に使われアレルギーの原因となる染料を使用したものはなかったものの、今回実施した、参考品を除く 10 銘柄のパッチテストでは、永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人で陽性に反応する人数が多い結果であった。そのうち 4 銘柄でパッチテストに関する表示がされていなかったが、消費者が自分で少量を事前に皮膚につけるなどのパッチテストをすることでかぶれ等を防ぐことができるため、特に永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人に対してはパッチテストを徹底するよう表示の改善を要望する。

## 9. 行政への要望

### 1) ヘナとうたった商品でもヘナ色素ローソンがほとんど検出されない銘柄がみられ、染毛性能も低かった。誤認を招く表示を改善するよう指導することを要望する

今回の評価結果では染毛性能が低く満足が得られなかった銘柄が多かった。また、全銘柄とも商品名や表示にヘナによって染毛すると受け取れる表示がみられたが、ヘナ色素ローソンがほとんど検出されない銘柄があったため、誤認を招く表示を改善するよう指導を要望する。

### 2) 使用時にはパッチテストを実施する旨の表示をするよう指導を要望する

今回実施したパッチテストにおいて、特に永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人に陽性反応が多く出るという結果となった。永久染毛剤に使用され、かぶれ等の原因となる可能性が高い染料は検出されなかったが、人によってはかぶれ等を起こすおそれのあることが分かった。特に永久染毛剤でかぶれ等を起こしたことがある人に対するパッチテストの徹底及びパッチテストの具体的な実施方法を記載するよう指導を要望する。

#### ○要望先

公正取引委員会 事務総局 取引部 景品表示監視室  
厚生労働省 医薬食品局 安全対策課  
厚生労働省 医薬食品局 監視指導・麻薬対策課  
日本化粧品工業連合会  
日本ヘアカラー工業会

#### ○情報提供先

内閣府 国民生活局 消費者調整課

本件問い合わせ先

商品テスト部：042-758-3165



写真1 ローソン100%で染めた時の様子  
白髪割合100%の毛束を使用して染めたもの。淡赤から淡褐色に染まる。



写真2 No.1を3回染毛し、その2日後に評価した時の様子  
繰り返し使用したり、塗布後の放置時間を延ばす等条件を変えて染毛した場合に、評価が上がり効果がみられた。



写真3 No.7を表示の基本的な方法に従って染毛した時の様子  
染毛性能は低く、染毛する前からの変化がほとんど感じられない、白髪等も目立つ  
との評価が多かった。



写真4 No.10を表示の基本的な方法に従って染毛した時の様子  
染毛性能は低く、染毛する前からの変化がほとんど感じられない、白髪等も目立つ  
との評価が多かった。また、「ベタついている」等の感想があった。

<title>ヘナ配合の白髪染めをうたった商品－染毛効果を中心に－（概要） </title>